

平成二十三年一月臨時会 福祉環境委員会委員長報告

五番 高野 正晴でございます。

私から、本市議会臨時会におきまして、福祉環境委員会に付託されました諸議案の審査の結果につきまして御報告申し上げます。

審査の結果につきましては、お手元に配布されております福祉環境委員会決定報告書のとおり決定した次第であります。

次に、委員会において論議され、市当局に要望いたしました主なる事項について申し上げます。

議案第一号 平成二十二年度長野市一般会計補正予算について申し上げます。

今回の補正予算は、国の平成二十二年度における緊急総合経済対策に伴う、「きめ細かな交付金」と「住民生活に光をそそぐ交付金」を活用し、市民生活の安全・安心や地域経済の活性化に資する事業を行うものであります。

このうち、「住民生活に光をそそぐ交付金」は、住民生活に大事な分野でありながら、今まで光が十分に当たらなかった分野を支援するものであり、弱者対策などの分野への積極的な取組を促すものであります。

当委員会関係では、DV、いわゆるドメスティック・バイオレンス予防や消費生活対策、自殺者対策等の啓発事業に対する予算などが計上されておりますが、これらの分野においては、啓発事業だけでなく、相談窓口の充実や人材育成、県などの関係機関との連携にも取り組み、今回の交付金の目的を達成するよう要望いたしました。

また、国の補正予算に連動した関連事業として、高校一年生に相当する年齢の女子を対象とした、子宮頸がん予防ワクチン接種事業に要する経費も計上されております。

今回市では、この接種率を八割と想定しているようでありませんが、できるだけ多くの女子が接種するよう接種率の向上を目指し、周知活動に積極的に取り組むよう要望いたしました。併せて、子宮頸がん予防ワクチン接種を予防接種法に基づく定期予防接種に位置付けることを求める働き掛けを、国に対して行うよう要望いたしました。

いずれにしても、今回の補正予算を速やかに執行し、新年度予算と合わせ、切れ目のない対応を行い、元気の出る地域社会の実現に向けた取組を今後も力強く推進していくことを期待するものであります。

以上で報告を終わります。